



12月4日～10日は「人権週間」

「人権」とは、人間が人間らしく生きるための権利で、とてもたいせつなものです。

12月10日は、国際連合が定める「人権デー」。そして、日本では12月4日～10日を「人権週間」と定め、人権への意識啓発活動を展開しています。

中学生人権作文コンテスト

市と大和市人権擁護委員会は、市内中学生を対象に、毎年、「中学生人権作文コンテスト」を実施しています。今年は、いじめなど身近な問題をテーマにした499点の応募の中から、次の15点が優秀賞に選ばれました。

なお、印の作品は同コンテスト厚木協議会大会に推薦され、印の鈴木悠子さんの作品は更に県大会に進み、優秀賞に選ばれました。
(敬称略)

「やさしさとは」

秋山由紀(光丘中3年)

「クローン人間」

小林紘子(同)

「被害者の人権について」

平岡優(同)

「メルボルン事件について」

山口沙織(同)

「私が経験したいじめ」

岩下美保(引地台中3年)

「いじめについて」

間辺百合子(上和田中3年)

「差別について」

大山里美(下福田中2年)

「光」

鈴木悠子(聖セシリア女子中3年)

「韓国から日本へ向けて」

田中沙織(同)

「日本の住みにくさ」

中島由佳(同)

「私と人種と世界と」

濱谷美咲(同)

「祖母とすこして」

深田恵里(同)

「心の障害」

松本絵美(同)

「祖父から学んで」

牟田幸美(同)

「二回目の話し合い」

森陽子(同)

人権に関する相談は

人権擁護委員に

市内には、法務大臣が委嘱した10人の人権擁護委員がいます。地域で人権思想を広めるとともに、市役所や自宅などで市民の皆さんからの人権相談に応じています。

身近なところで、「人権上問題では？」と思うようなことがありましたら、気軽に相談してください。相談は無料で、相談内容の秘密は厳守します。

人権週間中の主な啓発活動

市と大和市人権擁護委員会などでは、人権週間に合わせて、さまざまな啓発活動を行います。

この機会に、人権のたいせつさを見つめ直してみませんか。

人権パネル展

とき 12月3日(月)～10日(月)

12月10日(月)～15日(土)

いずれも午前8時30分～午後5時(10日は、は正午

まで、は午後1時から)

ところ 市役所

保健福祉センター

は人権ビデオ上映会も。

人権街頭啓発

とき 12月6日(木)午後2時30分

～3時30分

ところ 中央林間駅前

障害者の人権110番

(横浜弁護士会無料法律相談)

12月7日(金)午前10時～午後4時

☎045(211)0224

FAX:045(211)0227

問い合わせは、市役所広聴相談課広聴相談担当☎(260)5129、

Kouchou。

お問い合わせは、市役所広聴相談課広聴相談担当☎(260)5129、

Kouchou。

市内の人権擁護委員(敬称略)

小川新次(上和田) ☎267 0384	鏡 絹子(林間) ☎275 7261
下田季子(柳橋) ☎267 1317	二見 武(桜森) ☎261 7638
伏見暢子(下鶴間) ☎274 5363	更井光世(福田) ☎267 1174
石塚長作(上草柳) ☎264 0380	渡邊政義(上和田) ☎267 0591
佐藤忠良(下鶴間) ☎274 3202	真壁和江(深見) ☎261 1494

定例相談 毎週木曜日(12月6日は除く)午後1時30分～4時 / 市役所広聴相談課

特設相談 12月6日(木)午後1時30分～4時 / 林間学習センター

地域福祉計画づくりに参加しませんか

「社会福祉事業法」が「社会福祉法」に改称・改正され、昨年6月から施行されました。同法では、福祉サービスを「措置制度」から「利用制度」へ移行することなど、利用者の立場に立った社会福祉制度の実現や地域福祉計画を策定して、総合的な地域福祉を進めることが定められています。

この地域福祉計画は、市がこれまでに策定した障害者や高齢者、児童など対象者別の各計画を総合的に進めるとともに、住民の地域福祉に関する活動計画として位置付けられます。また、地域住民が参加して計画を策定することも盛り込まれています。

市は、この地域福祉計画を平成15年4月から施行することを目指して策定を進めます。

皆さんの貴重なご意見をお寄せください。

「地区の意見を聴く会」で「ご意見」を

地域で住民が支え合つしくみをつくり上げるために、「地区の意見を聴く会」を開催します。

開催日程

来年2月2日(土) 林間学習センター

3日(日) つきみ野学習センター

16日(土) 桜丘学習センター

17日(日) 生涯学習センター
23日(土) 渋谷学習センター
時間はいずれも午後1時30分から。当日直接会場へ。

「地域福祉シンポジウム」を開催

計画づくりへの市民参加の在り方や地域福祉を推進するために市、地域、団体、個人の役割分担などを考えるシンポジウムを開催します。

とき 12月18日(火)午後1時15分
ところ 生涯学習センター
定員 600人

基調講演 「まちづくりから学ぶ市民参加」
講師 早稲田大学教授 卯月盛夫氏
パネリスト スカッシュン

「地域福祉を推進するために」

コーディネーター
・白梅学園短期大学教授

パネリスト
・佐野英司氏

・個人ボランティア 中村紀子氏
・NPO法人ワーカーズ・コレクティブ チャイルドケア

宇津木朋子氏

・土屋侯保大和市長
手話・筆記通訳あり。当日直接会場へ。

問い合わせは、保健福祉センター福祉総務課福祉政策担当 ☎(260)5604、t-sounuへ。

厚木基地騒音対策協議会総会が開催

「NLPとデモンストレーションフライトの廃止」を訴える

県と大和市など厚木基地周辺7市の首長などで構成する「厚木基地騒音対策協議会」の総会が、11月7日、厚木市で開催されました。

総会では、NLP(夜間連続離着陸訓練)による航空機騒音の解消などについての国や米軍への要請内容が採択され、今後の運動方針が議論されました。

総会に引き続き、外務省や防衛庁、米国外使館などに対して要請活動を実施。「NLPによる航空機騒音の解消」、「デモンストレーションフライト(基地開放日の展示飛行)の恒久的な廃止」、今年9月にはNLPに先立って艦載機の離着陸訓練

が昼夜に及んだことから、「的確な情報提供と地元への更なる配慮」を強く求めました。

要請に対して政府からは、「NLPは、できるかぎり硫黄島で行うよう米軍に働きかける。デモンストレーションフライトは、地元の意向に沿うように米軍を説得していきたい」などの回答がありました。

問い合わせは、市役所基地対策課基地対策担当 ☎(260)5310、kiccoへ。なお、騒音に関する苦情は、市のホームページからお送りください。

交通安全ポスターコンクール

市は、交通事故から子どもたちを守り、交通安全に対する意識を高めてもらうことを目的に、交通安全ポスターコンクールを毎年開催しています。



同コンクールは、市内の小学4～6年生を対象に作品を募集し、今年は848点の力作が集まりました。審査の結果、最優秀賞には、深見小学校6年の丸谷幸子さんの作品(写真)が、また、優秀賞には30点が選ばれ、11月24日に行われた大和市交通安全推進大会で表彰されました。

今後、丸谷さんの作品は、交通安全のPRポスターなどとして活用されます。

問い合わせは、市役所交通安全対策課交通安全担当 ☎(260)5118、E anzenへ。

「無事故で年末・笑顔で新年」

年末の交通事故防止運動 12月11日～20日